

(2) 外部試験団体と連携した英語力調査事業

平成27年度予算額 291,385千円(116,325千円)

国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策(H23. 6. 30)

中学校卒業段階で求められる英語力: 初歩的な英語を聞いたり読んだりして話し手や書き手の意向などを理解したり、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話したり書いたりすることができる(英検3級程度以上)

高校卒業段階で求められる英語力: 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができる(英検準2級～2級程度以上)

外部検定試験を活用し、生徒の英語力を把握・分析・検証し、まもなく始まる学習指導要領の改訂に向けた議論に活用。また、教員の指導改善へ活用できるよう、教育委員会、各学校、生徒へのフィードバックを工夫。

- 生徒の英語力や学習状況について把握・分析を行い、それらの結果を指導改善、学習指導要領改訂に活用
- 第2期教育振興基本計画の成果指標である英語力を4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)の観点も含めて測定
- 高等学校に加え、新たに中学校の英語力の調査を実施。

<Plan> 指導計画

<Do> 学習状況・指導内容

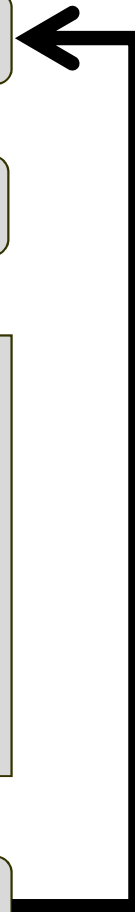
<Check>

外部試験(例. GTEC for STUDENTS, 英検、TOEFL等)
実施団体、研究機関と連携した
英語力調査

質問紙
調査

効果的な指導の検証・課題の抽出

<Action> 指導改善の取組



平成26年度 英語教育改善のための 英語力調査について

【目的】

全国の国公私立高校3年生約8万人(約500校)※を対象に、新学習指導要領の着実な実施に向け、英語に関する4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)がバランスよく育成されているかという観点から、教員の指導改善に活用できるよう、生徒の英語力や学習状況を把握・分析する。

【スケジュール】

5月	○事業説明会 ○文部科学省よりメールにて資料送付 (事業説明会資料+テスト実施情報確認書) ○国立大学法人・都道府県等(教育委員会・知事部局)より各学校への連絡
~6月中旬	○調査実施希望日時調整(各学校と委託業者)
7月	○各学校において調査実施
9~12月	○生徒個票の返却(各学校へ送付) ○各学校・都道府県への結果の返却
12~2月	○全体の結果の分析
3月	○調査結果報告書の公表

平成26年度 英語教育改善のための 英語力調査について

【実施内容】

1. 英語力調査問題(4技能)

- ・「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」は合わせて2単位時間(50分×2)以内
- ・「話すこと」は上記3技能とは別に実施し、1受験者あたり10分程度
- ・難易度はCEFRのA2～B2までの測定が可能な範囲で出題
- ・CEFRとの関連付けを行う

2. 質問紙(生徒用・教員用・学校用)

- ・生徒の学習状況、教員の指導の状況、学校の体制整備の状況を調査。

【結果の活用について】

○外部検定試験を活用して生徒の英語力と学習状況を把握・分析・検証することを通じ、生徒の英語力を向上

○英語力調査全体の回答パターンから生徒の英語力における課題を導き出し、教員が指導を行うに当たって生かすべきポイントを示し、教員の英語指導力を向上

(分析例)

- ・英語力調査問題と質問紙を分析し、生徒の英語力と学習状況の関連を示す
- ・授業や指導体制の現状を把握し、教員が指導を行うに当たっての改善に生かす

英語力調査の設計（質問紙での「意識調査」）

「生徒」、「教員」、「学校」に対するアンケート

項目	内容
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none">○英語そのものに関する意識○英語使用に関する経験○英語に関する試験の受験経験○英語の学習方法・内容や学習時間について○学校の英語の授業について
教員質問紙	<ul style="list-style-type: none">○教員単位での指導の実態について
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none">○学校組織での指導の実態について

【生徒への質問】

- 英語に関する意識
 - ・英語学習への関心
 - ・英語を身につけ何をしたいか
[国際社会で活躍、大学で専門的に学ぶ、海外留学、日常会話、大学入試、その他]
- 英語使用の経験
 - ・高校生になってから経験したこと[イングリッシュキャンプ、スピーチ大会、プレゼンテーション、留学、ホームステイなど]
- 英語の資格・検定試験の受験経験
- 英語の学習時間・手段
 - ・予習・復習時間、PC、タブレットなど機器
- 4技能の活動状況
 - ・生徒同士で意見交換などを行っていたか

【教員への質問】

- 英語の授業での言語活動や指導
 - ・スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなど
- 英語の授業での英語の使用状況
- 生徒が英語の授業でコミュニケーション活動を行っている割合
- 校内外の研修会への参加状況
- 自分の英語力を向上させるための取組
 - ・英字新聞を読む、テレビの英語講座、語学学校など
- 英語の資格・検定試験の受験状況

【学校への質問】

- 研修の実施状況
 - ・模擬授業、授業相互参観、事例研究など
- 学校外研修の活用状況
- 言語活動に重点を置いた指導計画作成状況

(1) 英語教育強化地域拠点事業

事業概要

- 小学校における英語教育の適切な開始年次や授業時数の在り方
- 小・中・高の教育課程を俯瞰して、一貫した学習到達目標を設定すること。
 - ・ 小学校から中学校及び中学校から高等学校への円滑な移行のための方策、中学校・高等学校における英語教育の目標・内容の高度化を図る等、小学校・中学校・高等学校及び中等教育学校における英語教育に関する教育課程等の改善。

実証的資料を得るため、現行の学習指導要領によらない英語教育を実施する特定の地域を「英語教育強化地域拠点」として指定し、研究開発事業を実施する。



平成26年度「英語教育強化地域拠点事業」研究校

18件
102校
採択

番号	申請件名	強化地域拠点校名
1	北海道(4)	北海道寿都高等学校・寿都町立寿都中学校・寿都町立寿都小学校・寿都町立潮路小学校
2	岩手県(5)	岩手県立紫波総合高等学校・紫波町立紫波第一中学校・紫波町立日詰小学校・紫波町立赤石小学校・紫波町立古館小学校
3	秋田県(3)	秋田県立由利高等学校・由利本荘市立由利中学校・由利本荘市立由利小学校
4	群馬県(15)	群馬県立渋川女子高等学校・前橋市立第一中学校・前橋市立桃井小学校・前橋市立城南小学校・前橋市立中央小学校
		群馬県立嬬恋高等学校・嬬恋村立嬬恋中学校・嬬恋村立西小学校・嬬恋村立田代小学校・嬬恋村立千俣小学校・嬬恋村立東部小学校
		群馬県立沼田女子高等学校・沼田市立沼田中学校・沼田市立沼田東小学校・沼田市立沼田北小学校
5	埼玉県(9)	埼玉県立宮代高等学校・宮代町立百間中学校・宮代町立東小学校・宮代町立笠原小学校
		埼玉県立鴻巣女子高等学校・鴻巣市立川里中学校・鴻巣市立屈巢小学校・鴻巣市立共和小学校・鴻巣市立広田小学校
6	千葉県(6)	千葉県立流山おおたかの森高等学校・千葉県立流山市立南流山中中学校・流山市立西初石中学校・流山市立南流山小学校・流山市立鱸ヶ崎小学校・流山市立西初石小学校
7	福井県(5)	福井県立勝山高等学校・勝山市立勝山中部中学校・勝山市立成器西小学校・勝山市立村岡小学校・勝山市立野向小学校
8	岐阜県(7)	岐阜県立長良高等学校・岐阜県立大垣西高等学校・岐阜市立長良中学校・大垣市立星和中学校・岐阜市立長良西小学校・大垣市立中川小学校・大垣市立小野小学校
9	兵庫県(6)	兵庫県立生野高等学校・朝来市立生野中学校・朝来市立朝来中学校・朝来市立生野小学校・朝来市立中川小学校・朝来市立山口小学校
10	奈良県(9)	奈良県立高取国際高等学校・奈良県立桜井高等学校・奈良市立平城西中学校・奈良市立右京小学校・奈良市立神功小学校・
		御所市立葛中学校・御所市立葛小学校・明日香村立聖徳中学校・明日香村立明日香小学校
11	鳥取県(3)	鳥取県立八頭高等学校・若桜町立若桜学園中学校・若桜町立若桜学園小学校
12	島根県(4)	島根県立三刀屋高等学校・雲南市立吉田中学校・雲南市立吉田小学校・雲南市立田井小学校
13	広島県(4)	広島県立賀茂高等学校・東広島市立松賀中学校・東広島市立東西条小学校・東広島市立御園宇小学校
14	徳島県(5)	徳島県立阿波西高等学校・阿波市立阿波中学校・阿波市立久勝小学校・阿波市立伊沢小学校・阿波市立林小学校
15	高知県(6)	高知県立高知西高等学校・南国市立香南中学校・南国市立日章小学校・南国市立大湊小学校・中土佐町立久礼中学校・中土佐町立久礼小学校
16	熊本市(5)	熊本市立必由館高等学校・熊本市立錦ヶ丘中学校・熊本市立尾ノ上小学校・熊本市立山ノ内小学校・熊本市立月出小学校
17	光華女子学園(3)	京都光華高等学校・京都光華中学校・光華小学校
18	京都教育大学(3)	国立大学法人京都教育大学附属高等学校・桃山中学校・桃山小学校